

## 業務チャレンジ型の試行業務の概要

### 1. 背景と課題

近年の自然災害の増大など、緊急の測量業務を実施することが増えていることから、少しでも多くの企業に国の基盤となる基本測量業務を担っていただけるようにすることが重要になっている。

### 2. 目的

測量業務の受注実績がない企業の参入機会を広げ、測量業者（測量技術者）の技術力の確保・向上を図るため、総合評価落札方式（簡易型）の測量業務を対象に試行として実施する。

### 3. 試行方法

通常の場合、総合評価落札方式では、企業や測量技術者の実績・資格、業務成績・優良表彰等及び技術提案書（実施方針）により、企業の技術力を評価するが、試行業務は新規業者も参入しやすいよう、企業や測量技術者の業務成績及び優良表彰は評価対象としない。また、過去4か年度又は当該年度に受注した基本測量・公共測量業務等の実績を評価するとともに、測量技術者が自己研鑽の結果として取得できる測量技術者資格や業務継続教育（CPD）の取組の評価を加点して実施する。

・ 測量技術者資格	主任技術者 <sup>※1</sup> の場合	入札段階 6 点を加点
	作業班長 <sup>※2</sup> の場合	入札段階 6 点を加点
・ 業務継続教育取組 （CPD）	主任技術者の場合	入札段階 4 点を加点
	作業班長の場合	入札段階 2 点を加点

※1 主任技術者：測量業務の履行に関し全体的な管理及び統括等を行う者

※2 作業班長：作業現場における測量作業の技術上の責任者